すてないで

VOL. 34

区民の皆さんの日常生活から発生したごみの最終処分場は、どこかご存じですか？

答えは「新海面処分場」です。東京湾の最後の埋立地となるこの処分場は、30年ほどで満杯になると考えられていましたが、皆さんのごみ減量への協力により、最近では、もっと長く使えるのではないかと言われています。

しかし、可燃ごみ・不燃ごみの中には、資源として再利用できるものが、まだたくさん含まれています。最終処分場を少しでも長く使うためには、皆さん一人一人に、ごみの減量や分別に、さらに協力していただくことが必要です。

今回は、ごみや資源の出し方を指導している清掃事務所の「ふれあい指導班」の活動と集団回収懇談会の内容などをお知らせします。

【問合せ】新宿清掃事務所業務係☎（3950）2923へ。

3つのRを実践しよう

▶Reduce（リデュース）
物を大切に使い、ごみとなるものを減らしましょう

▶Reuse（リユース）
使い終わったものでも捨てないで再び使いましょう

▶Recycle（リサイクル）
もう一度資源として生かして使いましょう

清掃事務所「ふれあい指導班」の活動

「分別されていないので集積所にごみが残っている」「収集日ではないのに生ごみが出ていて臭い」など、ごみ出しのルールが守られていないことで困った経験はありませんか？

このようなときに活躍するのが清掃事務所の「ふれあい指導班」です。ふれあい指導班は状況を調査し、ごみが適切に出されていない場合は、出した人を訪ねて、ごみ・資源の正しい分け方、出し方を説明し、理解と協力を求めます。また、小学校などからの要望により、ごみに関連した環境問題やリサイクルについて子どもたちに説明し、子どものころから問題意識を持ってくれるように啓発活動も行っています。

このように、「ふれあい指導」は啓発パンフレット配布のような間接的な方法だけでなく、人と人とのコミュニケーションを大切にしています。

ルールが守られていない集積所

ふれあい指導により、ルールが守られた集積所

清掃事務所からのお願い

～資源やごみの出し方について～

1 びん・缶（資源）

現在、回収箱は回収日の前日に設置していますが、深夜や早朝にびんや缶を出す方がいるため、清掃事務所には、「音がうるさくて眠れない」という苦情が寄せられています。また、アルミ缶の抜き取りも深夜から早朝にかけて多く発生しています。

そのため、資源はできるだけ回収日当日の朝（午前7時ごろから回収箱が設置されている間）に出すようにしてください。また、回収箱に入れるときには、なるべく音をたてないよう配慮をお願いします。

2 スプレー缶など

中身の残ったスプレー缶などは、車両火災の原因になります。スプレー缶などは中身を完全に使い切って、不燃ごみとして出してください。

3 ラップ類・カップ麺の容器など

最近、「燃やせます」「有毒なガスは発生しません」などと表示しているビニール系・プラスチック系の容器があります。新宿区では、ビニール系・プラスチック系のものは、不燃ごみとして出してください。

4 危険物

割れた食器やガラスなどの危険物は、厚紙に包み「危険」と表示して、不燃ごみとして出してください。

蛍光管は、紙ケースに入れて、不燃ごみとして出してください。

▶▶▶集団回収懇談会を開催◀◀◀

区では、資源の集団回収を実践している皆さんから資源回収に関しての質問や意見をいただくとともに、団体同士の意見交換をする場として、地域ごとに年2回、集団回収実践団体懇談会を開催しています。今年の6月・7月に各地域センターなど9か所で実施した、17年度前期懇談会での主な質問と区の回答を紹介します。

【業者の抜き取り対策】

Q 集積場所から古紙や缶などを抜き取る業者の取り締まりはできないのですか？

A 懇談会等の要望に応え「持ち去り禁止」シートや旗を作成し、特別出張所等で配布しています。カラスネットをかけた上に表示シートや旗を付けるとさらに効果があります。費用を掛けて業者を取り締まっても、厳しく罰することは難しいと考えています。区ではマナーに訴えることと、抜き取られない工夫を進めていきたいと思います。

【区の回収に出された資源を集団回収に充てること】

Q 住民の高齢化により、集団回収の集積場所まで持って行けない人が多いため、拠点の多い区の回収場所や家の前に資源を出してもらい、町会など実践団体の役員が回収しています。その際、区の回収に出してある資源まで集団回収に入れてしまうことがあるようです。このことについて、区ではどのように考えますか？

A 資源がリサイクルされるということで、結果としては同じですが、区の回収に出した方の気持ちもあり、一概には勧められません。集団回収の大きなメリットを地域住民の方に理解していただくことが必要だと思います。

【資源回収の集団回収への一本化】

Q 資源の回収方法を集団回収に一本化している区がありますが、新宿区も集団回収に一本化できないのですか？

A 一本化を進めている区は、集団回収への町会の加入率が7割を超えるような区です。新宿区では、集団回収への町会の加入率は約5割であり、今のところ一本化は難しい状況です。なお、回収量が多く、月に1回集団回収に出し、ほかの週は区の回収に出している町会があるようですが、その場合は回収業者と話し合い、集団回収の回数を増やすようにしてください。

【ペットボトルの回収】

Q ペットボトルの回収を区の拠点回収にしてもらえませんか？

A 現在、約270か所のコンビニエンスストアなどで店頭回収をしていますが、飲み残しや異物が混入していたり、キャップが付いているなど、資源にすることが難しいペットボトルも入っています。また、不燃ごみとして出されるペットボトルも多い状況です。このような状況に対応するため、区では原則として100世帯以上の集合住宅で、きちんと分別することを条件に、7月から試験的に集合住宅への回収を始めたところです。

▶集団回収のメリット

- 正しく分別された、質の良い資源が大量に効率よく集まります。
- リサイクル意識が高まり、省資源・環境美化につながります。
- 地域のコミュニケーションが深まり、楽しい近所付き合いにつながります。
- 税金が節約できます（古紙類1キログラム当たりの資源化経費は、区の回収だと約35円、集団回収だと約11円）。

★ごみの分け方ワンポイントアドバイス

ごみを出すときに、可燃ごみか不燃ごみか、迷ったことはありませんか？下記の分け方を参考にしてください。

これは可燃ごみ

貝殻　卵の殻　魚の骨
紙コップ　ちり紙　感熱紙
写真　窓付き封筒
ストッキング　タイツ
ジーンズ
布製品ほか

これは不燃ごみ

発泡スチロール　ラップ
アルミホイル　ポリ袋　レジ袋
湿布　テレホンカード
使い捨てカイロ　皮製品
ガムテープ
スニーカーほか

行ってみました「集団回収現場」⑩　四谷ガーデニア管理組合

四谷ガーデニアは、都営新宿線曙橋駅近くのマンションで、約170世帯の方が入居しています。今年の7月から集団回収を始め、管理人の方と、午前2名、午後1名の清掃担当の方が、入居者の方が出した古紙などの整理をしています。管理人の石田さんにお話を伺いました。

「集団回収を始めるに当たり理事会で話し合ったところ、理事の方の中には牛乳パックを遠くの回収ボックスまで持って行くなど、以前から資源回収に協力している方もいらっしゃいましたので、すぐ了承を得られました。わざわざ遠くまで出掛ける必要もなくなり、皆さんに喜んでもらっています。このマンションは、世帯数に比べて保管場所が狭いため、週1回、業者の方に回収してもらっています。新聞・雑誌・ダンボールのほかに、牛乳パックや古着なども回収してもらっています。古着などは以前は燃えるごみに出していました。資源をリサイクルすることでごみが減り、区の費用の節減にもなり、実施団体には報奨金が支給されることを知り、もっと早くからやっていればよかったと思います」と話してくれました。

区では、集合住宅等を訪問して、集団回収の説明をしています。四谷ガーデニアの集団回収も、そのようにして始まりました。

集団回収は10世帯以上集まれば団体登録ができます。マンションの管理組合やご近所の気の合う仲間のグループなど、リサイクルに関心のある方はご相談ください。

【問合せ】リサイクル清掃課事業計画係（本庁舎7階）☎（5273）3318へ。

― 区の清掃関連施設を紹介します ―

新宿中継所ってどんなところ？

中継所はこんな施設

中継所は、小型収集車で集めた不燃ごみを大型コンテナ車に積み替えて運搬するための施設です。新宿中継所では、小型収集車９台分の不燃ごみを1台の大型コンテナ車に積み替え、不燃ごみ処理センター（江東区）に運搬しています。1日当たりの運搬延べ台数は約30台（小型収集車約270台分）です。

なぜ必要なの？

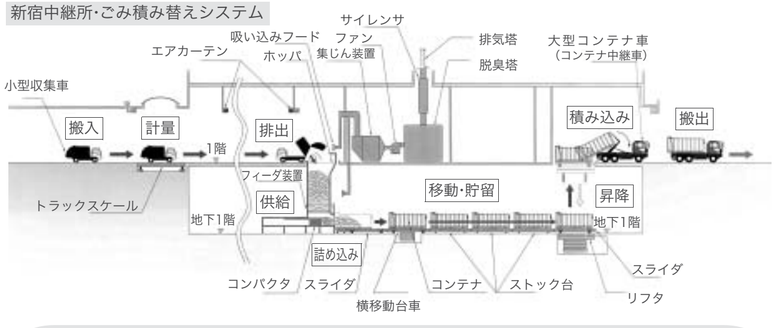
①不燃ごみの効率的な収集と運搬のため

新宿区から不燃ごみ処理センターまでは約25kmあり、往復にかなりの時間がかかります。全部の小型収集車が不燃ごみ処理センターまで行くのでは、効率的に収集運搬ができないためです。

②不燃ごみ処理センターまでの通過交通量を削減するため

以前は、多数の小型収集車などが集中することにより、交通渋滞の原因にもなっていましたが、大型コンテナ車に積み替えることにより、交通量が減りました。

新宿中継所・ごみ積み替えシステム



新宿中継所は見学できます。詳しくはお問い合わせください。
【問合せ】新宿中継所（大久保3―7―42）☎（5285）1108へ。